

第4問〔各④点、合計20点〕

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	材 料	3,674,000	買 掛 金 材 料 副 費	3,340,000 334,000
(2)	仕 掛 品 製 造 間 接 費	3,062,400 143,000	材 料	3,205,400
(3)	仕 掛 品 製 造 間 接 費	1,200,000 750,000	賃 金	1,950,000
(4)	仕 掛 品	1,680,000	製 造 間 接 費	1,680,000
(5)	操 業 度 差 異 製 造 間 接 費	6,300 6,300	製 造 間 接 費 予 算 差 異	6,300 6,300

第5問〔各②点、合計20点〕

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して(① 貢献利益)を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。×1期の①は(② 10,032,000)円、営業利益は(③ 1,152,000)円である。一方、全部原価計算によると、×1期の売上総利益は(④ 6,072,000)円、営業利益は直接原価計算と同じである。

×2期の営業利益は、直接原価計算によると(⑤ 570,000)円、全部原価計算によると(⑥ 1,050,000)円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末製品棚卸資産に含まれる(⑦ 固定加工費)の分である。

仮に、×2期の製品生産量を5,000個とし、販売量に変化はなかったとすると、期末製品在庫量は(⑧ 500)個になる。このときの営業利益は、直接原価計算によると(⑨ 570,000)円、全部原価計算によると(⑩ 1,158,000)円になる。